



現在も、専門学校のチームでサッカーを続けている眞田さん（前列右端）

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2020 2

発行・編集 大津市 総務課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2100 印刷 大津市印刷株式会社
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293) 3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

大津のことがもっと好きになる情報誌

おおづ 2

FEBRUARY 2020



今月のみどころ

巻頭記事

令和元年度

大津町

成人式



「育ててくれた

親と町に恩返しを」



さなだ つばさ
眞田 翼さん（美咲野）

令和初の成人式で、実行委員のメンバーの一人として式を運営し、「二十歳の誓い」を務めた眞田翼さんをクローズアップする。

立候補して実行委員になった眞田さん。その背景には、中学時代の経験があった。体育大会で体育委員長と応援団長を兼任した際に、肉体的・精神的にきついこともあったが、先生や他の団員の助けもあって乗り越えられた。そのときの周りの人の喜び顔とやり遂げた達成感が心に残っており、今回も立候補した。

成人して一番感謝を伝えたいのは、今まで育ててくれた両親。家庭では、自分からその日の出来事を話すのが習慣となっていた。「何でも話せる雰囲気を作ってくれたことで今の自分がある」とはきはき話す眞田さんの性格もそのおかげだろう。町の好きなところを聞くと、「一番は人がいいところ」と話す。小さい頃は活発で、毎日グラウンドでサッカーをしていた眞田さんを、地域の人たちは見守ってくれた。登校時横断歩道に立ってくれたり、下校時に挨拶をすると「こんにちわ」ではなく「お帰りなさい」と返してくれるのが、温かみがあった嬉しかった。

現在はアルバイトをしながら専門学校に通っており、4月からは役場勤務が始まる。「町に住む人にはより過さやすく、離れて生活している人にも、いつでも戻ってくるができる、皆が大好きな大津町であり続けられるように支えていくことが目標です」と抱負を語ってくれた。仕事以外でも、地域の子どもたちにサッカーを教えることで地域貢献をしていきたい。自身も小学生の時に、地域のボランティアの人から教えてもらった経験があり、現在もその人たちとの関係は続いている。自分の所属していたチームを指導するのが楽しみだ。さまざまな人に支えられてきたこれまでの人生。成人を迎えて今度は支える側へと舵を切る。

つづきの声

▼県広報コンクールで「広報おおづ」が2年連続で佳作に入選しました。これも取材にご協力いただいた皆さんをはじめとした、住民の皆さんのおかげです。ありがとうございます。住民の皆さんに楽しんで読んでもらえる広報誌を目指し、精進していきます（晩）

▼今年の冬は暖かいと思っていたら、気象台によると九州地方の「初雪観測日」が遅くなり、このままだと111年ぶりに記録更新だそうです。気をつけたのはインフルエンザの流行が遅くなる事で油断すること。流行が遅れても、その後感染者が急増した年もあったとの事ですので、くれぐれも予防は怠らずに気をつけましょう（HN）

からいもくん便り

大津町総合情報メール

携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。



QRコード

登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください（スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信）。